

平成28年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	やっぱり、すごいね木曾漆器!! 魅力再発見事業
事業主体	塩尻市木曾平沢自治協議会
(連絡先)	会長 石本幸一郎
事業区分	(6)産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	612,000円 (うち支援金: 459,000円)

事業内容

1.子ども向けワークショップ(教育推進)

地域(塩尻市内)の小学生対象に、地域伝統工芸の認識を深めるため、塗り箸絵付け体験のワークショップを実施した。

2.旅行者向け工房見学(兼:重要伝統的建造物群)支援(観光振興)

木曾漆器の作り手の話を聞きながら「工房見学」できる機会を実施し、伝統工芸産業の振興につなげた。

併せて、重要伝統的建造物も説明しながら案内し、買物目的以外の観光客の増、リピーターの増を図った。



【塗り箸絵付け体験】

【目標・ねらい】

- ① 体験型ワークショップによる、伝統工芸の教育と関心・気づきへの誘導
- ② 木曾漆器の技と重要伝統的建造物群の相乗効果による地域ブランド化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①6/3~5の木曾漆器祭と8/7夏休み期間中の2回実施し、延100人の小学生と付添の保護者も含め塗り箸絵付け体験をする中で、漆器への関心・知識を深められた。

将来この体験が地域活性化に向け生かされることと思う。

②漆器を買い求める客が主体であった漆器祭を見直し、作り手が漆器に関する工程などお客さんと直接話をしながら工房を案内し、平沢漆器に対するすばらしさと理解を広めることができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

子ども向けワークショップは保護者も含め予想以上に参加し目的を十分果たせた
工房見学は工房(重伝建)を案内する工房の理解も低かったが、当日は各工房積極的に説明しながらの案内ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子ども向けワークショップについては、年齢層の拡大と実施回数を増やして、漆器のすばらしさや関心をもっと高めていきたい

工房見学については、漆器の工程を知るうえで重要伝統的建造物群も含めて、来訪者を直接案内しながら説明することにより、平沢の伝統的漆器を更に広めることが不可欠であります。

今後、地域活性化のためにも「工房見学」を全工房が実施するよう参加工房を順次増やしていきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた。「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある